



まくべつ

わたしたちのまち

(昭和62年9月1日現在)

人口	21,692	(-28)
男	10,596	(-15)
女	11,096	(-13)
世帯数	6,671	(-11)
一人のうごき (8月中)		
転入	36人	転出 79人
出生	25人	死亡 10人

||||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



人馬一体となって障害にチャレンジ

第6回幕別町鞍馬(ばんば)競技大会が9月23日、絶好の秋晴れの
下、依田の特設会場で開催されました。

大会には町内外から約90頭が出場し、人馬一体となって500kgを超える重量を引っ張るメインレースのほか、ポニーによるレースや人間ばんばも行われ、観客の盛んな声援を受けていました。

62年 **10**

No.429

大切な意見を町づくりに反映

町民の皆さんが、市政について日々思っていること、将来への希望や意見などをお聴かせいただき、町づくりに反映させるため、「私の声を町長に送る質問」(八月五日～十四日)を実施しましたが、九十五通・百四十二件の貴重な意見が寄せられました。その主な意見と回答を紹介します。

・札内地区の公共下水道整備計画はどのようになっているのでしょうか。

答：札内地区の公共下水道は建設最終目標年度を昭和七十年ととし、計画区域面積四百九拾、計画処理人口一万五千五百人、建設事業費二十六億二千二百万円をもって十勝川流域関連公共下水道事業で整備を行うものです。

現在工事を行っているのは、全計画のうち第一期事業として認



建設中の札内中継ポンプ場

可を受けている地区(中央町の全部、青葉町、あかしや町、泉町、春日町、若草町の一部)で面積は九十五拾です。工事は昭和六十一年度未で認可面積の一〇・九%の整備を終えています。昭和六十五年度には一部供用開始を予定していますが、一年でも早く供用開始ができるよう国および道に対し要請をしています。

今年度は札内中継ポンプ場(東春日団地東側)の建設や汚水幹線の施設などの工事を行っています。工事のためにご不便、ご迷惑をおかけしますが、住みよい町づくりのためによろしくご協力願います。

・幕別温泉下の吐月橋のことですが、歩道が車道にはさまれて大変危険だと思えます。改善を要望します。

答：ご意見の通り吐月橋は中央歩道であるため利用者に大変ご迷惑をかけており、町としてもその解消に苦慮しているところです。



歩道が中央にある吐月橋

吐月橋の下を流れる途別川については、付近団地並びに耕地の内水排除のため河床の床下げが必要であり、この事業の促進を現在道に要請中であります。

この場合、現在の吐月橋の改修も必要となることから、この事業の早期着工を要請し、橋並びに歩道も合わせて改修できるよう努力してまいります。

・最近キツネが多くなりエキノコックス症が心配です。またキツネ

やシカが畑作物を荒らして苦慮しています。何か対策を。

答：エキノコックス汚染につきましては、本町では毎年キツネの検体を実施していますが、今のところエキノコックス虫は発見されず、重点地域の指定を受けるにいたっておりません。しかし、帯広市、池田町など近隣市町村が指定を受けており、安心できない状況にありますので、今後とも帯広保健所をはじめ関係機関と連携を取りながら、汚染防止について適確な対策を構ずる考えであります。

また、キツネやシカなどにより畑作物に被害があった場合は、従来より町の農林課に連絡をいただき、そのつどハンターに依頼し捕獲を行っておりますので、畑作物に被害が出た場合は速やかにご連絡ください。

・市街地道路の整備を。

答：市街地道路の整備については例年多くの方からの要望があり、限られた予算のなかで全部を補修することができず、まことに申し訳なく思います。

現在市街地の町道の延長は約八十六千メートルで、うち改良舗装済の延長は六十四千メートルであり二十二千メートルが未整備であります。この未整備の道路の要望に際するため、毎年多額の予算を投入していますが、市街地の道路は農村道と異なり国や道の補助がなく、町債いわゆる借金を財源としているため財政上そ

の枠も制限されていることから年間約一千万を整備するのが精一杯であります。

地域のバランス、道路の重要度を考慮し、順次舗装化を進めていくよう努力していきたいと思

います。

・パークゴルフ場つつじコースにトイレの設置を。

答：パークゴルフ場つつじコースへの近くのトイレの設置につきましては、運動公園にふさわしいトイレとしてログハウス風のもの八月下旬に設置し、早速ご利用をいただいております。これまでも大変ご不便をおかけしました。これからも町民の皆さんが憩いえる公園として管理等に万全を期してまいります。



8月末に完成したつつじコースのトイレ

・町道幕札線が全線舗装になり交通量が多くなりましたが、歩道が完備されていないため自転車通学の生徒たちが危険な状態にあります。歩道設置の計画はあるのでしょうか。

答：幕札線は昭和五十三年に舗装工事に着手し、昨年に全線が完成しました。しかしこれに伴い、中学生や高校生の通学路としての性格を持つこの道路の利用度が大幅に増加し、歩行者や自転車への危険度が増大している現状にあります。

このような状況から町としても歩道等の整備の必要性は十分認識しており、昨年度、工業団地の造成に合わせ一部車道の拡幅と歩道の設置を行ったところです。

今後は、白人橋の歩道橋を含め春日踏切までの早期完成を当面の目標とし、引き続き年次計画により整備を進めてまいりたいと考えております。



交通量が多くなった町道幕札線(白人橋)

・町づくり見学会に役場庁舎も入れてください。

答：町づくり見学会は毎年10月ごろに実施していますが、これまではその年に建設された施設を中心に行ってきました。しかし、ご指摘の通り札内地区の方には、特に

役場にこられることが少ないと思えますので、今年の日程の中に役



昨年の町づくり見学会

場庁舎の見学も組み入れることにしました。今年の町づくり見学会は十月二十五日に実施いたします。十月一日号の「おしらせ」を通して参加希望者の募集を行いますのでぜひご参加ください。

また、見学会以外の時でも職員が対応致しますので、お気軽に役場にお越しください。

・幕別町の水道料金は高すぎると思います。また、これから広域水道の水が入るようになればもっと高くなるのではないのでしょうか。企業会計はわかりませんが、近隣市町村と比べ均衡のとれた料金とすべきではないでしょうか。

答：水道料金の算定にあたってはすべての費用に基づいて原価が算出されます。この原価から計算すると、最低限基本水量十リ、基本料金一千八百円としなければ水道事業を維持していくことができません。帯広市の給水人口約十五万

九千人と比べ本町は一万五千人で水道規模および立地条件等大きく異なり、水の一斗当たりの供給原価も異なってきました。これに伴い水道料金に差が生じておりますことをご理解願います。

また、十勝中部広域水道(幕別町など一市四町二村)の通水は昭和六十八年四月を予定しております。この時には関係市町村共に水道料金の改定を考慮しておりますが、できる範囲内において大きな差のないように努めてまいりたいと考えています。

・国民健康保険税が高額なので、とても重い負担になっています。何とか安くならないものではないでしょうか。

答：国民健康保険事業は、皆さんが病院に入通院した費用のうち七割を町が医療機関に支払いをする制度です。

近年医療費が年々増えてきております。国の補助金や町からの繰入金を増やしても医療費の伸びには追いつきません。したがって町民の皆さんも大変でしょうが、負担を願う年々保険税が増額しているのが現状です。ですから、保険税を安くするためには、町全体の医療費を減らさなければなりません。そのためには、同じ病気で病院のかけもちほししないことや、各種検診を積極的に受け早期発見による早期治療を行うこと、できるだけかかりつけの医師をもつこと、

また、日常生活における自分自身の健康管理をすることなどが協力です。町民の皆さんのご協力をお願いいたします。

・町内にキャンプ場設置の計画はあるのでしょうか。札内川河川敷の公園化計画があるようですが、その計画の中でもご一考願えないでしょうか。

答：青少年に対し、自然環境の中でのびのびとした野外活動や集団宿泊生活を体験させ、創造的な能



キャンプ場の設置が予定されている新和小跡地

力と豊かな情操を身につけさせるためには、キャンプ場の設置は非常に大切な事と理解しています。

現在計画中であります仮称「新和少年自然の家」の建設に併せて同一敷地内にキャンプ場を設置することになっています。

また、札内川の河川敷等に設置することは、環境的には素晴らしのですが、付帯施設の便所、炊事場等の設置が現況では許可にな

らず、計画に入っておりませんのでご了承願います。

・最近はおパック包装の食品が多く、パック類を分けて燃えないゴミの日に出していますが、月に二回しか収集がありません。収集回数を週一回程度にできないものではないでしょうか。

答：燃えないゴミの週一回収集については、最近おパック類商品が数多く出回っている状況から、多くの町民の方が希望されていると察しています。町でもこのことについては検討しているところですが、実施する場合は収集車(パッカー車)をどうしても一台増やさなければなりません。これには年間一千三百万円程度のお金が必要となり、ゴミ無料化を継続していく上で、これ以上の出費は望ましいも



燃えないゴミとして処理するパック類

のではありません。

パック類は不衛生にならないようにゴミ袋などで保管するなどの方法でご協力をいただき、ゴミの無料化を続けていきたいと思っております。

長年の功績をたたえて

町功労者等表彰

昭和62年度幕別町功労者等表彰式が10月1日（開町記念日）に町民会館で行われました。町表彰条例に基づき、本町の自治・経済・社会等の発展に長年尽されたかたを表彰するもので、本年度は自治功労賞2人、社会功労賞2人、産業功労賞1人の5人が受賞しました。

自治功労



六郎田 勇さん
(71歳・明倫60)

昭和四十一年七月から町農業委員として四期十二年にわたり、本町農業の振興に尽力されました。また、昭和五十四年五月から町議会議員として二期八年間地域住民の信託に応え、町政発展に寄与し、本町の自治振興に多大の貢献をされました。

自治功労



八十嶋宗正さん
(67歳・新川64)

昭和五十年五月から町議会議員として三期十二年間にわたり、地域住民の信託に応え、町政発展に寄与されました。この間、建設常任委員長、厚生常任副委員長として議会運営に尽くされ、本町の自治振興に多大の貢献をされました。

社会功労



萩野 久信さん
(81歳・古舞293)

昭和四十六年四月から十六年間の長きにわたり、町老人クラブ連合会理事として、老人クラブの育成、社会福祉の向上に尽くされました。また、農業委員、古舞公園長などを歴任され、地域住民の信望も厚く、地域の発展に寄与されました。

社会功労



折笠 要さん
(69歳・緑町49)

昭和五十年五月からの二期八年間にわたる町議会議員をはじめ、農業委員、農民同盟など多くの要職を歴任され、町政および農業の発展に尽力されました。また、現在緑町第一公園長として地域住民の福祉の増進、自治意識の高揚に活躍されています。

産業功労



鬼頭 良三さん
(68歳・南勢439)

昭和三十八年五月からの二期八年間にわたる町議会議員をはじめ、同年七月から町農業委員を一期三年間、また昭和四十年から九年年間にわたり幕別町農協理事などを歴任され、多年にわたる農業経営を通じ、指導的立場で本町農業の発展に寄与されました。

スポーツ賞等に1団体3個人

昭和六十二年年度幕別町スポーツ賞等表彰式が十月一日に行われ、次の方々が受賞しました。
〔スポーツ賞〕
▽長崎利典さん(五六・泉町七九) 道身体障害者スポーツ大会アーチェリー三十級優勝
▽鎌田芳彰さん(一八・中央町五二九) 団体ア

チェリー競技少年男子の部個人、団体優勝
▽幕別高校アーチェリー部 全国高校アーチェリー選手権大会道予選会優勝
〔感謝状〕
▽西出元さん(五四・南町) 幕別高校アーチェリー部の監督を務める傍ら、十七年間にわたり本町のアーチェリー競技の振興に貢献。

日本初のサケの川釣り実現

十月七日から十一日までの五日間 猿別川の巖橋から栄橋までの間二・五キロ

日本で初めてのサケの川釣りができる「サーモンワールド共和国」が、十月七日から十一日までの五日間、糠内市街を流れる猿別川にオープンすることになりました。この事業はサケ釣りをスポーツフィッシングとしてとらえ、幕別をはじめ帯広、音更の経済界の十五、六人のプロジェクトチームによって企画されたものです。これを受けて町では道に対して、河川の占用許可、サケの特別捕獲許可などの申請手続きを進め、このほど認可され実現の運びとなりました。釣り場の区域は、糠内市街を流れる猿別川の巖橋から栄橋までの間の約二・五キロで、釣りは



巖橋から望む釣り場区域

64年春にオープン

河川敷ゴルフ場造成工事着工

札内川の河川敷に大規模な公園を造成する「幕別町河川緑地基本計画」の一部である札内川河川敷ゴルフ場の造成工事が十月上旬から着工されることになりました。

同ゴルフ場の造成・運営母体は今年の七月に設立された、町と民間の出資による第三セクターの株式会社幕別町地域振興公社(代表取締役・菅原繁光町助役)で、町内の土木業者七社からなる共同企業体に造成工事を発注しました。

同ゴルフ場は、札内東六号地先



福島得美子さん (21歳)

南町2

▼十勝信用組合幕別支店▲

感謝デーに

お気軽にご来店

幕別支店に配属されて丸3年になります。窓口業務を担当しているので、緊張の毎日ですが、お客様には笑顔で接することを心がけています。

今年はこの支店が開店して20周年に当たるんです。より親しまれる信用組合をモットーに、10月23・24日に感謝デーを開催しますので、どうぞお気軽にいらしてください。お待ちしております。

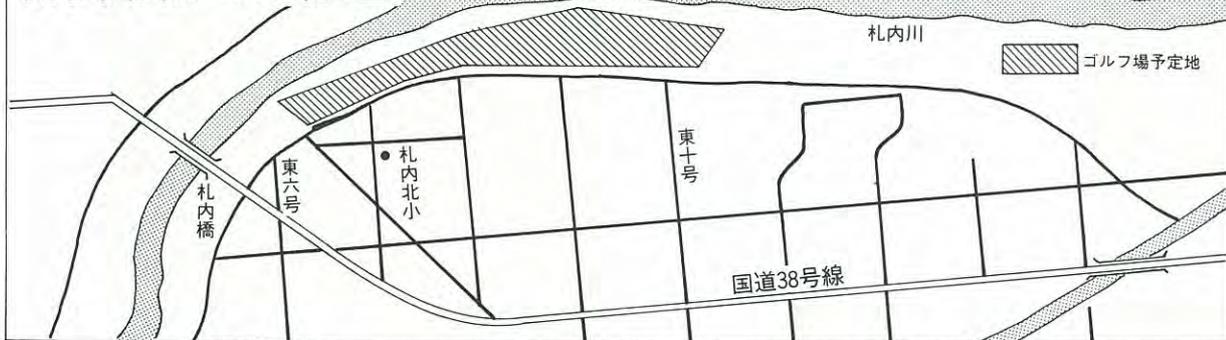
こんにちは ②7

から同十号地先までの面積約四十六畝の河川敷地に、全長約六千メートル、パー七十二のコースの設定が予定されています。コースの特徴は河川敷であるため全体的に平坦であることから、初心者でも楽しめるコースです。また、ファミリーゴルフ場の性格を持つことから低料金でのプレーが可能で、

工事は、今年度は整地などの土木工事を行い、来年春に芝の種まきを行います。また、クラブハウスや駐車場の整備は六十三年度に行われています。

予定しています。工事が順調に進めば、オープンは六十四年春になる見通しです。

札内川河川敷ゴルフ場位置図



チャレンジ91の結果

つつじコース36ホール サーモンコース36ホール 俳句村コース19ホール
パー331 (敬称略)

男子の部

優勝	矢野武男 (あかしや町)	298
準優勝	有動 勲 (新北町)	304
1位	佐々木正泰 (錦町)	310
2位	三井 巖 (旭町)	310
3位	国枝勝一 (緑町)	314
4位	三好 明 (寿町)	315
5位	岩井 浩 (緑町)	317

女子の部

優勝	金岡信子 (錦町)	311
準優勝	福田登喜子 (寿町)	318
1位	西山桃子 (錦町)	327
2位	佐々木美江子 (錦町)	327
3位	土田サカ代 (寿町)	329

疲れたー。でも来年も

チャレンジ91に124人が参加

人の愛好者が参加しました。大会はつつじコース36ホール、サーモンコース36ホール、俳句村コース19ホールで行われ、全員がホール

町開基九十一年にちなんで、九十一ホールをプレーするパークゴルフチャレンジ91大会が九月十三日に行われました。開基九十年を記念して昨年からはじめたこの大会、今年も幕別支店開店二十周年を迎えた十勝信用組合の主催で行われ、百二十四



コミュニティ スポーツ



124人が参加したチャレンジ91の開会式

アウトしたのは、日も沈んだ午後五時ごろとなりました。成績は別として、全員がフルマラソンを完走したようなそう快感を味わいました。この大会、開基百年の昭和七十一年まで続けられます。

幕別町で生まれた
パークゴルフ



木彫りの会のサークルである「かつらぎ会」(河瀬勝子会長・会員15人)が町民会館に木彫りのレリーフを寄贈しました。このレリーフ、全会員の共同製作によるもので、横1尺縦60釐のシナの木の平板に牧場の風景が彫られています。

木彫りのレリーフを寄贈

町民文芸誌「まくべつ」の第三号が町文化協会から発刊されました。A5判、三百三十一ページの中には、パークゴルフの歴史の紹介のほか、随筆や評論、短歌などが盛り込まれています。価格は一冊五百円で、教育委員会と札内支所で販売しています。



町民文芸誌第3号が発刊



豊作を祈りかかしまつり



相川の咄別(いかんべつ)神社で恒例のかかしまつりが九月八日に開かれ、地域の人たちの力作、傑作のかかし十五体が境内に並びました。コアラやタコなどのユニークなかかしも登場し、地域の人たちは豊作を祈りながら秋の一日を楽しんでいました。

地域の人たちの手づくりによるパークゴルフ場が旧駒島中グラウンドに造成され、9月10日にオープン記念大会が開かれました。コース名は「しらかばコース」で、18ホール、パー66となっています。



駒島に手づくりのコース完成

幕別 ⑦ 続・ものごたがり

毎年八月のお盆が近づくと千住の安東軍次郎さんは、川原に生えている太さ一寸程(二三釐)のヤナギの木を数本切ってきてカ

ムイノミ(神への祈りの儀式)にささげる準備をする。今年も八月十四日、町内にある先祖の眠る二カ所の慰霊碑の前で、町内外のゆかりのある人々が集まって行われた。その二カ所の慰霊碑を紹介する。国道38号線、千住橋東から南へ十四号道路を東に向かつていくと間もなく「道サケマスふ化場幕別事業所」が見える。そこを過ぎて道路沿いに墓地が現れるが、その人口中央にあるのが白人コタン慰霊碑である。ここは以前からアイヌの人たちの墓地であったが、コタンがさびれていくうちにお参りする人もなくなった。墓碑は朽ち果て、だれのものかもわからないほど荒れてしまった。そこでこれらの遺骨を一カ所に集めて葬ろうというゆかりの人たちの努力が実り、昭和四十四年四月にカムイノミをしてクワ入れを行った。その後、ウタリの労力奉仕で作業が進み、土葬であった遺骨

町内2カ所のウタリの慰霊碑 毎年8月に神への祈りの儀式

をだびに付した。その数およそ八十体であった。同年五月四日に完成した碑は高さ一・二材のスウェーデン製の立派なもので、工事費は町の助成、関係者と一般の寄付によってまかなわれ五十万円であった。

除幕式には初めて和人の僧侶が招かれ仏式で行われた。終了後には、メノコを中心にウポポ(歌やリムセ(輪舞)が賑やかに行われた。一方、池田に通じる国道242号線と町の墓地がある。その旧火葬場の西隣りにヤムワツカウタリ慰霊碑がある。碑の右側に立っている二本の墓碑は、今ではめったに見られないアイヌ式の墓碑(クワ)で、ふたまたまになっているのは男の墓碑(オツカヨクワ)で、一本になっているのが女の墓碑(メノコクワ)である。この碑ができたのは、昭和四十二年墓地の横を通る国道修復の時、工事現場から二十体のアイヌの遺骨が発掘され、無縁仏として町の墓地の一角に仮埋葬にしておいたことがきっかけである。およそ十年間におよぶウタリの念願が実って、昭和五十一年四月に慰霊碑建設の地鎮祭が行われ、同年八月十一日に除幕式を迎えた。(記ふるさと館郷土史部会小助川勝義)

広報クイズ⑦

500円の図書券が当たる

三つの答えの中から正しいものを選び、はがき書いてお送りください。

- ① 広報「まくべつ」は今月号で通算第何号？
 (A)420号 (B)429号 (C)435号
- ② 10月1日の開町記念日に町功労者等表彰を受賞したのは
 (A)3人 (B)5人 (C)10人
- ③ 日本で初めてのサケの川釣りが実現する川は
 (A)猿別川 (B)札内川 (C)途別川
- ④ 札内川河川敷ゴルフ場のオープン予定は
 (A)昭和63年春 (B)昭和64年春 (C)昭和65年春
- ⑤ 9月26日に明野ヶ丘公園に植栽されたのは
 (A)カラマツ (B)シャクナゲ (C)芝桜

【応募方法】

★はがきに答えの記号(例①-(A))、住所、氏名、年齢と、ご意見ご要望、広報を読んで一言などを書き添えてください。

全問正解の人の中から抽選で5人に500円の図書券をプレゼントします。応募は1人1通に限ります。ご意見などのほか、イラスト、漫画、詩、コントなども大歓迎です。イラストや漫画は黒色で濃くかいてください。

★あて先＝☎089-06 幕別町本町130 役場内・広報係

★締め役り＝10月15日 (15日の消印有効)

★前回の正解は、①-(C)、②-(A)、③-(C)、④-(A)、⑤-(B)でした。応募43通で全問正解は39通。抽選で次の5人が当選しました。

(敬称略)

栗木友美(14・中央町) 鈴木澄子(29・青葉町) 阿彦里枝(11・西町) 長崎マユミ(13・駒島) 今井豊志(36・暁町)



みんなの ほんの一言



い つも出してみたいと思っ
ていましたが、やっと出すこ
とができてうれしです。そして
当たってくれるのもつとうれし
です。今は農作業でとても忙し
いです。↓古舞 速水留美子(?)

い 毎日の農作業ご苦労さまで
す。すばらしい出来秋になるとい
いですね。

健 康診断、胃ガン検診などた
びたび町でしてくださるの
なっ

い つもありがたいことと感謝
しながら受けております。幕別町
に移り住んでから五年になります
が、とても良い町とよるこんで
おります。↓文京町 進藤和子(60)

い クゴルフのテレホンカー
ドができたそうですね。こ
れで幕別町のテレホンカードは「つ
ながったデー」に続いて二枚目
ですね。↓暁町 今井豊志(36)

い パークゴルフのテレホンカ
ードは限定七百枚、五十度数を八
百円で販売しています。札内支所
か役場開発商工課でぜひお求めに
なっ

最高ですね。楽しみにしています。
↓錦町 川向保明(8)

😊: 以前はあったような気がする
のですが、料理のコラムなどがあ
るといいですね。↓桂町 梅田ひ
とみ(35)

😊: クイズを見るのが楽しみです。
↓桂町 金合香織(22)

😊: 毎月の町の催しが鮮明にわか
り、それに図書券が当たるなんて
最高ですね。楽しみにしています。
↓錦町 川向保明(8)



ほんの一言

😊: 図書券当たりますように！
↓宝町 野原美千代(22)

😊: はじめてハガキ出しました。
当たるといいなあー。↓中里 岩
井誠治(21)

😊: 今回は子供と二人でチャレ
ンジしてみました。↓桂町 玉田美
佐子(34)

😊: としよけんまっています。↓
泉町 やまもとけんじ(60)

ふるさとへの便り... ⑱



しろうじかずのり
小路和範さん (36歳)
(神奈川県横浜市)

豊かな町づくりに
何となく安心

林町長は私のそばんの
元先生であり、助役は同期
の菅原君のお父さんという
こともあって、町政がとて
も身近に感じられます。幕別
には両親が健在で、町の動静を知
る唯一の情報源となっています。
アーチエリー大会や歩くスキ
ーツアーに参加した話などを耳に
すると、私が過ごしたころとは
随分様子が違い、こんな一面か
らみても豊かな町づくりが進め
られているものだとつくづく感
じられ、何となく安心していま
す。

私もやがては、古里幕別に戻
り、暮らしたいと思っています。
幕別町の今後の益々のご発展を
心から望んでいます。

(小路和範さんは、南町に住む
小路俊勝さんの二男です)

最後の芝桜植栽に八十人が参加

明野ヶ丘公園 五年間で二万五千株

町民の手による明野ヶ丘公園への芝桜の一斉植栽が九月二十六日に行われました。

この事業は、明野ヶ丘公園のスキー場斜面に芝桜を植栽し同公園を町内外にアピールしようと、明野ヶ丘公園芝桜一株運動推進委員会(大久保正司会長)により昭和五十八年から始まったものです。昨年までの四年間に延べ四百三十人

の町民が参加して約二万株の芝桜が植栽されました。六十年からは同公園で芝桜まつりが開催されるようになりました。また昨年には芝桜が町の花に選定されるなど、町に定着した花になっています。

今年の一斉植栽には約八十人の町民が参加し、時おり小雨が降る中、五千株の芝桜をスキー場東斜面に植栽し、同公園の手づくりの



町民の手による一斉植栽は今年流しました。

シンボルづくりのさわやかな汗を流しました。

31 安い材料費が魅力

ひと

創作紙粘土に
取り組んでいる
こけつ まゆみ
瀬瀬真由美さん
(南町2・35歳)

二年に一回開かれる創作紙粘土全国作品展で、三千点近い応募の中から上位約百点の佳作に入選したのが瀬瀬真由美さんです。

『今回入選したのは若者二人が陽気にたたく姿を表した「ハロー」という作品なんです。楽しんでみながらやっているだけなんです。まさか入選するとは思いませんでした。』

創作紙粘土に取り組んだのは六年前で、それからすっかりその魅力にとりつかれてしまいました。主に人形を作りますが、ブローチやアクセサリなどの小物

も作っています。これまでに作った作品の数ですか。数え切れないですね。

『創作紙粘土の魅力は、材料費が安いことが一番ですね。難しいところは、やはり顔の表情ですね。少し手を加えただけで大きく変わってしまうんです。それも魅力の一つかも知れませんね。』

週に二回、町内の婦人八人を対象にした教室を開いています。みんなの作品を見てもらおうと、十月二十三日から信組幕別支店さんで展示会を開催します。たくさんの人に見に来てほしいですね。

昭和二十七年七月生まれ。ご主人と娘さん二人の四大家族。

人事異動

●九月一日付で

- ▽経済部農林課長(総務部企画調整課主幹) 鎌田幸雄
- ▽総務部企画調整課主幹(同副主幹) 三井巖
- ▽同副主幹(経済部開発商工課開発係) 長谷繁
- ▽同総務課管財係(総務部民生課福祉係) 水川潔
- ▽同民生課福祉係(同住民課任民係) 林美紀子
- ▽経済部開発商工課開発係(同総務課管財係) 湯佐茂雄

「寄付ありがとうございます」

■町へ:

▽辻耕三さん(中央町)から老人福祉センターへ樹木等十五本

■社会福祉協議会へ:

- ▽渡辺富久恵さん(豊町)から三万円
- ▽二川要さん(幸町)から大人用紙オムツ百十四枚
- ▽笹島一郎さん(猿別)から二万円
- ▽渡辺タツ子さん(相川)から二万円
- ▽特別養護老人ホーム札内寮職員新睦会から四万五千元
- ▽岡田和夫さん(中央町)から十万円

■老人クラブへ:

▽渡辺タツ子さん(相川)から相川新暦会へ二万円
(八月十八日〜九月十七日分)

と詰と缶詰とコーンがドッキン

町内軍岡にあるホクレン十勝食品工場(藤沢齊工場長)で製造しているスイートコーン缶詰の缶のデザインにパークゴルフが登場しました。これは、町特産品開発推進協議会がスイートコーン缶詰を通して幕別町のPRをしようと、今年の春先からホクレンと協議を重ね、ホクレンの協力により実現の運びとなったものです。



パークゴルフのイラストがデザインされたこの缶詰、今年は一万四千缶ほど製造され、町内の商店などで販売されています。

※訂正—先月号の広報で、町特産品開発推進協議会の会長名に誤りがありました。同協議会の現在の会長は飛田稔章さんです。おわびして訂正いたします。